

第12回 児童・生徒の理解を深める会

趣旨

近年では学校で予想もしない出来事（事件・事故）が起こると地域全体が揺れ動いてしまいコミュニティに大きな危機が訪れるということが、強く認識されるようになってきました。学校における身近な人の突然の死は多くの人に深い影響を与えます。ましてや子どもの自死はコミュニティに属する人々にとって深刻な問題です。教師の不祥事も子どもらにとって大人への不信を抱かせます。このような学校における事件・事故後には、子ども達を中心としての心理的支援が必要であろうということは、概ねの理解を得られ、臨床心理士やスクールカウンセラーが心のケアに携わるようになりました。それは、学校コミュニティで起こる急性のストレス反応には、対応可能だということがわかってきたことにほかなりません。2005年より福岡県臨床心理士会で実践し培われてきたモデルを基に、学校コミュニティを支援する方法を学んでいただきます。緊急支援を行なう際にどのようなことを心掛けることが必要か、ワークを通して学んでいきます。

テーマ

『学校コミュニティにおける緊急支援の理論と実際』

講師

むかさ あきこ
向笠 章子氏（広島国際大学大学院教授）



《プロフィール》

日本大学文理学部心理学科卒業後、聖マリア病院臨床心理室に就職。退職後非常勤で勤務を続け、福岡県スクールカウンセラー、久留米大学病院精神科デイケア非常勤。その後久留米大学心理学研究科前期・後期博士課程を終了後、NPO法人くろめSTP代表理事、久留米大学心理学研究科非常勤講師を経て現職

《主な著書・訳書》

著書『学校コミュニティへの緊急支援の手引き』（金剛出版）、『夏休みで変わるADHDをもつこどものための支援プログラム』（遠見書房）

日時

平成30年11月17日（土）

[受付] 9:00 ~ [講演・ワーク・質疑] 9:30 ~ 12:30

会場

仁愛大学 A301室

対象

学校教育関係者、スクールカウンセラー（臨床心理士等）、スクールソーシャルワーカー、幼児教育関係者、児童福祉施設関係者、各相談機関関係者、大学院生等

定員

100人

主催

仁愛大学附属心理臨床センター

後援

福井県教育委員会、福井市・越前市・鯖江市・越前町・南越前町 各教育委員会
福井県臨床心理士会（いずれも申請中）

申込み方法

- 「参加申込書」による事前申し込みとする（質疑事項を募る）
- 締切：11月2日（金）必着のこと
（但し、定員に達し次第締め切るので状況によりお問合わせ下さい）

担当・問合わせ先

仁愛大学附属心理臨床センター

〒915-8586 越前市大手町3-1-1 TEL.0778-27-8652 FAX.0778-27-8653